

「ビジネスパーソンとして社会に貢献し、社会に求められる人材」

1. ビジネスの社会で必要となる知識や思考能力、スキルを修得していること。

2. 将来に向けたキャリアデザインやキャリア形成ができること。

3. 専門知識、技能を修得し、幅広い視点からものごとを見つめ直し、社会の動きを的確に、かつ、体系的に捉えられること。

4. 人間性豊かで国際感覚を会得した教養人であること。

	<ビジネス・スキル>	<キャリアデザイン>	<専門知識・技能修得>	<国際感覚・教養>
総合科目	日本社会システム論(法学) 日本社会システム論(経済学) 国際社会システム論(社会学) 国際社会システム論(政治学) 情報リテラシー論(数学)			人間論(心理学) 生命現象論(生物学) 国際社会システム論(社会学) 国際社会システム論(政治学) 情報リテラシー論(数学) 自然環境論(地理学) 文化交流論(歴史) 日本文化論(文学) 人権論(同和問題論)※不開講 科学方法論(化学) 健康スポーツ科学
外国語科目	英語総合 英語特修(A) 英語表現 ドイツ語読解 中国語読解 韓国語読解			英語読解 ドイツ語基礎 中国語基礎 韓国語基礎 英語総合 英語特修(A) 英語表現 ドイツ語読解 中国語読解 韓国語読解
専門科目 I	マクロ経済学① 商学総論① 簿記論① 民法① 商品学① 経営学総論 商法(商事関係法)	卒業ゼミナール	マクロ経済学② 商学総論② 簿記論② 民法② 商品学② 経営学総論 商法(商事関係法)	卒業ゼミナール
専門科目 II	金融論 会計学① 中小企業経営論 国際経済論① 原価計算論① 不動産論 保険法 有価証券法 財政学① 生産管理 労務管理論① 経営管理論① 証券論 マーケティング論 ミクロ経済学① 情報処理論① 秘書学概論 事務管理 国語表現法 コンピュータ基礎①	① and ② ① and ② ① and ② ① and ② ① and ② ① and ② ① and ② ① and ② 概論 and 実務 ① and ②	金融論 会計学② 国際経済論② 原価計算論② 国際政治学 憲法 交通論 財政学② 生産管理 労務管理論② 経営管理論② 証券論 ミクロ経済学② 情報処理論② 秘書実務 コンピュータ基礎②	① or ② ① or ② 憲法 国語表現法

.....> 複数のスキルに該当することを表します。

① and ② (科目名)①と(科目名)②の両方修得を表します。

① or ② (科目名)①と(科目名)②のいずれか修得を表します。